

厚別東まちづくりセンター だより

No.2

2005年5月発行 厚別東まちづくりセンター（厚別東4条4丁目9-3 Tel.897-2885）

厚別東 各種団体交流会 まちづくり会議 について

3月24日（木）、小野幌会館において、各種団体27団体・76人と区職員2人が参加し地域福祉の課題に取り組み、会場は大入り状態になりました。

厚別東地区では、27ある各種団体を4系統にグループ化しており、今回は福祉厚生グループが高齢者福祉等について発表しました。

- ▶ グループ代表の福祉のまち推進センター委員長が、①地区の高齢化の現状、②高齢者に対する支援のつながり、③支援組織が地域で知られていない、④住民の地域活動への参加等について説明しました。
- ▶ 民生委員・児童委員協議会の代表者が昨年12月1日の委員改選と担当地区の変更を発表するとともに、民生委員の仕事について説明しました。



▶ **“10年、20年後に猛スピードで迫る厚別東地区の高齢化”（会議当日の参考資料）**

下記の「日本の将来推計人口」は、わが国の年金、医療、介護といった社会保障制度を策定する際の重要なデータであります。

下表のとおり、「日本の将来推計人口」と同じような方式で厚別東地区の将来の高齢化率を算出しますと、次のように猛スピードで超高齢化社会に突き進んでいくと予想されます。

	実数(65歳以上の高齢者の割合)			将来推計(65歳以上の高齢者の割合)		
	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
国	12.0%	14.5%	17.3%	19.9%	22.5%	26.0%
厚別東	不明	不明	13.8%	14.4%	18.5%	25.9%

注) 国の将来推計は国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」から引用。

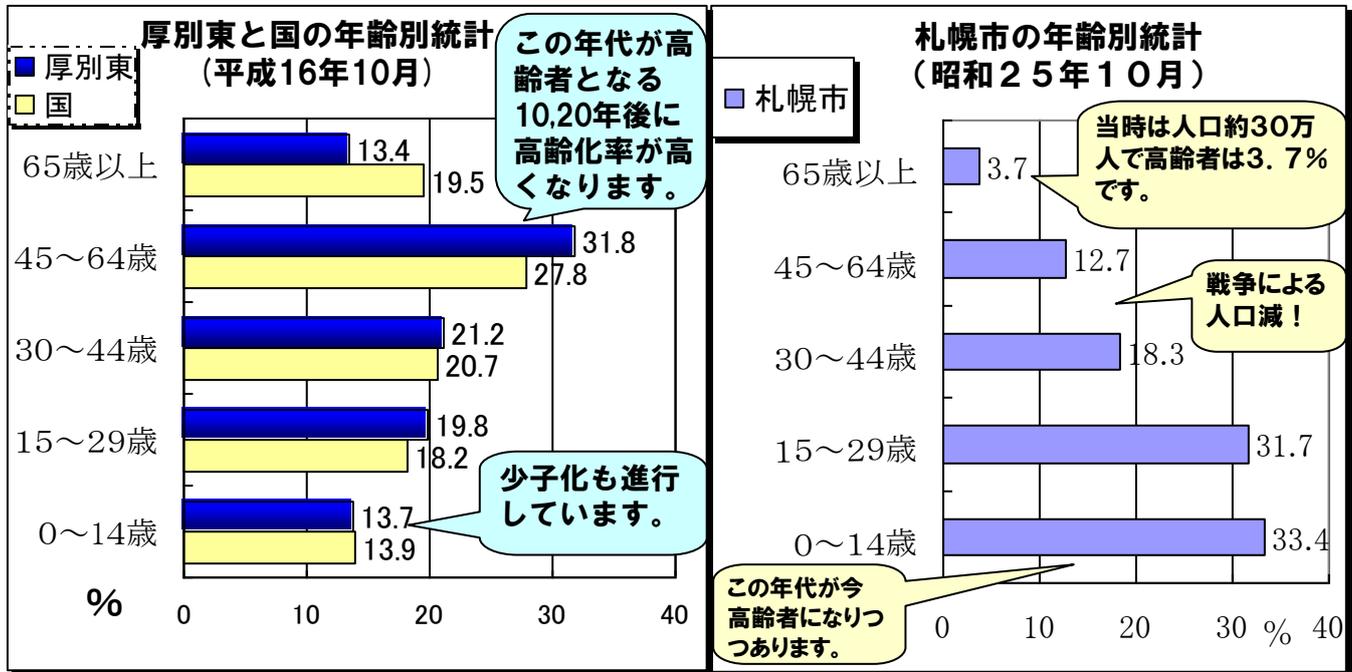
【猛スピードの理由等は裏面に続きます。】

➤ 厚別東地区の超高齢化の理由

下表のとおり平成16年10月現在の東地区の65歳以上の高齢者は13.4%であり、全国の19.5%と比較すると、現在の東地区は「若いまち」です。

今後、高齢化率が全国を上回る理由としては、昭和50年代以降に東地区では宅地開発が飛躍的に発達し、当時、住宅取得した「団塊の世代」を含む45～64歳が今31.8%と圧倒的に多く、この年代が相次いで高齢者となるためと考えられます。

なお、参考までに昭和25年の札幌市の年齢別統計を見ると、戦後のベビーブームを含む0～14歳の年少人口が多く、この年代が戦後60年を迎え、今高齢者となりつつあります。



福祉厚生クルーフ事業への参加・支援

今回、発表しました福祉厚生グループには、①社会福祉協議会、②福祉のまち推進センター、③民生委員・児童委員協議会、④日赤奉仕団、⑤老人クラブ連絡協議会、⑥保護司会の6団体があります。これらの団体は、講演会等の様々な福祉事業を展開していますので、事業に参加したい方、あるいは支援してみたい方は、まちづくりセンターへご相談願います。

また、「福祉のまち推進センター電話相談室」を毎週、月・水・金曜日の10時から12時、13時から15時まで開設していますので、気軽にご相談ください。

これからの主な予定

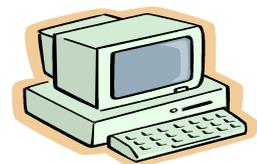
- 6月19日(日) ファミリー森林浴ウォーキング (野幌森林公園)
- 6月20日(月) 13:30 市民健康教室 (小野幌会館)
- 6月22日(水) 13:30 介護技術研修会 (小野幌会館)
- 6月28・29日(火・水) ふれあい料理教室 (小野幌会館)
- 7月29・30日(金・土) 厚別区民まつり



昨年の区民まつり(厚別音頭)

パソコン何でも相談室

今年も「パソコン何でも相談室」にご相談ください。6月は2・16日と7月は7・21日の午後1時～3時にふれあいサロン(小野幌会館内)で開催します。



まちづくりセンターの職員紹介



連絡員の佐藤さんが3月末で退職し、4月から高木さんが着任していますので、よろしくお願ひします。

担当業務は、厚別東町内会連合会に係わること、小野幌会館運営委員会等です。